

子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

令和7年1月23日

報告事項件名

頁

(教育指導部) なし

(学校運営部) なし

(子ども家庭部)

- | | |
|--|----|
| (1) 第3期足立区子ども・子育て支援事業計画(案)の策定とパブリックコメントの実施結果について | 2 |
| (2) (仮称) 子育て家庭訪問事業の実施について(予定) | 4 |
| (3) 足立区版子育て支援アプリケーションの導入について(予定) | 8 |
| (4) 区立保育園の施設更新について | 10 |
| (5) 就学前施設における「足立区待機児童解消アクション・プラン」の改定・休止について | 14 |
| (6) 足立区子ども施設指定管理者の評価結果について | 15 |
| (7) 足立区立学童保育室の指定管理者業務評価結果について | 19 |

(教 育 委 員 会)

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件名	第3期足立区子ども・子育て支援事業計画（案）の策定とパブリックコメントの実施結果について
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課
内 容	第3期足立区子ども・子育て支援事業計画(案)について、以下のとおりパブリックコメントを実施したので報告する。
	1 実施結果
	(1) 実施期間 令和6年11月1日（金）～12月16日（月）
	(2) 意見提出者数 34人
	(3) 意見の件数 98件
	(4) 意見の提出方法 ア 区ホームページの意見受付フォーム 19人 イ 窓口 10人 ウ FAX 4人 エ 郵送 1人
	(5) 主な要望・意見と区の考え方 詳細は別添資料1-1、1-2のとおり

	主な要望・意見	区の考え方
3	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について、最善の策か吟味すべきという意見	事業を実施することで、『こどもが家庭とは異なる経験や家族以外の人と関わる機会』、『孤立感や不安感を抱える保護者の負担感の軽減』、『保育者からこどもの成長等を伝えられることで、こどもと保護者の関係性にも良い効果』があると考えています。 制度開始にあたっては、丁寧に周知していきます。
4	区立保育園の老朽化に対する改修の要望	令和5年3月に「足立区立保育園・こども園 施設更新計画」を策定し、築年数が60年経過を一定基準として、建替えを検討しています。 また、園運営に必要な修繕については、定期的な点検や日常点検を行い、破損個所については随時の対応とともに、計画的に整備・補修を行ってまいります。

2 今後の方針

パブリックコメントでの意見や足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会含む）での意見聴取等を踏まえ、令和7年3月までに本計画を策定・報告する予定である。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件 名	(仮称) 子育て家庭訪問事業の実施について (予定)
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課
内 容	乳幼児がいる子育て家庭（全世帯）に対する訪問事業を、令和7年度から実施する。 1 目的 (1) 直接訪問により、全ての子育て家庭が気軽に相談でき、支援につながる仕組みを構築し、孤独・孤立を防止する。 (2) 絵本の配付により、親子で読書を楽しむきっかけとし、愛着形成につなげる。 2 開始時期 (予定) 令和7年10月 3 対象者 0歳5か月～1歳4か月の子どもがいる全世帯（約4,000世帯） ※ 3～4か月児健診と1歳6か月児健診の間の1年間 ※ P6「(仮称) 子育て家庭訪問事業全体像」参照 4 訪問頻度 1か月から2か月に1回、全対象世帯を訪問 ※ 保護者の希望や保育園通園の有無は問わない。 5 実施内容 対象世帯を訪問し、以下の支援を実施する。 ① 子育て相談 ② よろずごとの傾聴 ③ 専門機関へのつなぎ ④ 絵本の配付と読み語り（毎回、絵本を持参） ※ P7「(仮称) 子育て家庭訪問事業実施イメージ」参照 6 実施形態 区の会計年度任用職員による訪問（直営）と、外部委託による訪問の混合方式により実施する。 (1) 直営 ア 会計年度任用職員（保育士等の有資格者）を採用して実施

イ 本庁舎、おおやたこども園及び鹿浜こども園の3か所を訪問の拠点とする（各2名）。

(2) 外部委託

ア 訪問員は事業者が募集し、区が担当する以外の地区を訪問

イ 訪問員に資格の有無は問わず、研修によって、訪問業務の質を担保する。

(3) 混合方式を採用する理由

ア 直営では、訪問員の確保などに課題があり区内全域を訪問することが困難であるため、民間企業のノウハウを活用し実施

イ 一部直営（有資格者）で実施することで、訪問業務の質を維持するとともに、今後の実施方法の分析・改善を行っていく。

7 令和7年度運営経費（案）

項目	直営	委託	費用
訪問事業委託料		○	148,551 千円
絵本購入 （区が購入し、委託業者に配付）	○	○	29,040 千円
会計年度任用職員人件費	○		9,240 千円
その他経費 （訪問用タブレット、自転車等）	○		4,391 千円
			191,222 千円

※ 令和7年10月開始想定で積算

8 実施スケジュール案

令和7年4～8月 プロポーザル選定委員会実施

令和7年 9月 会計年度任用職員の採用
特定事業者との契約、仕様調整
訪問員への研修実施（直営・外部委託）

令和7年 10月 訪問業務開始

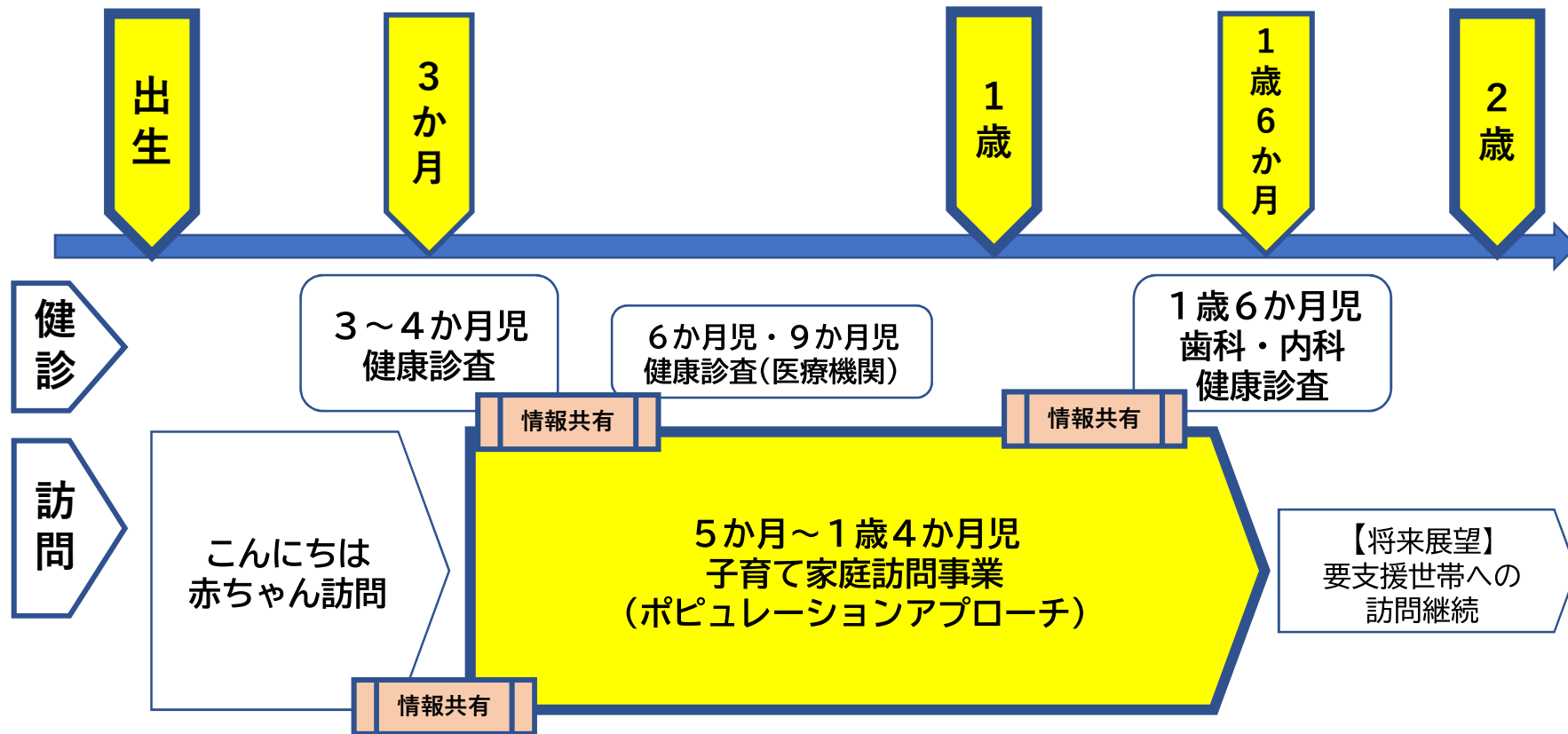
9 今後の方針

(1) 必要経費を令和7年度当初予算に計上する。

(2) 事業実施に向けて、他自治体の実施状況を参考にしながら、事業スキームの構築を行っていく。

(3) 配付絵本は、中央図書館や衛生部などの関係所管と連携し、選定していく。

(仮称) 子育て家庭訪問事業全体像



(仮称) 子育て家庭訪問事業実施イメージ

STEP 1
定期訪問
「孤立防止」

STEP 2
悩みや不安を傾聴
「気づきとつなぎ」

STEP 3
様々な主体による
「個別支援」

5か月～1歳4か月児
子育て家庭訪問事業
(ポピュレーションアプローチ)

連携・情報共有

地域
(NPO、民生・児童委員等)

・こども家庭相談課
・各保健センター

就学前施設
(保育園等)

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件 名	足立区版子育て支援アプリケーションの導入について（予定）																							
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課																							
内 容	I C Tを活用した子育て支援施策として、足立区版子育て支援アプリケーション（以下、「アプリ」という。）を令和7年10月から導入する。																							
	1 主な対象者 妊娠期から就学前までの子育て世帯																							
	2 効果 （1）アプリを導入することで、子育て情報を集約し、利用者が効率的に必要な情報にアクセスできる。 （2）利用者に対して、子どもの年齢やエリアに応じて、プッシュ型による情報の発信ができる。																							
	3 主な提供機能一覧																							
	<table><tr><th>機能等</th><th>あんしん 子育てナビ</th><th>新アプリ</th></tr><tr><td>提供形式</td><td>WEB</td><td>アプリ</td></tr><tr><td>予防接種スケジュール管理</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>健診・成長記録</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>プッシュ通知（年齢・エリア別）</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>離乳食・アレルギーチェック管理</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>子育てサービスやイベントなどの お知らせ（年齢・エリア別）</td><td>×</td><td>○</td></tr></table>			機能等	あんしん 子育てナビ	新アプリ	提供形式	WEB	アプリ	予防接種スケジュール管理	○	○	健診・成長記録	○	○	プッシュ通知（年齢・エリア別）	×	○	離乳食・アレルギーチェック管理	×	○	子育てサービスやイベントなどの お知らせ（年齢・エリア別）	×	○
	機能等	あんしん 子育てナビ	新アプリ																					
	提供形式	WEB	アプリ																					
	予防接種スケジュール管理	○	○																					
	健診・成長記録	○	○																					
	プッシュ通知（年齢・エリア別）	×	○																					
離乳食・アレルギーチェック管理	×	○																						
子育てサービスやイベントなどの お知らせ（年齢・エリア別）	×	○																						
4 足立区あんしん子育てナビの登録者数 延べ33,951人（令和6年12月末時点） ※ 「足立区あんしん子育てナビ」の利用者データは、新アプリに引き継ぐことができるため、継続利用が可能																								
5 導入スケジュール（予定）																								
<table><tr><th>年月</th><th>内容</th></tr><tr><td>令和7年4月</td><td>アプリ提供事業者と契約締結</td></tr><tr><td>令和7年5～8月</td><td>システム構築・検証期間</td></tr><tr><td>令和7年10月</td><td>アプリリリース（本稼働）</td></tr></table>			年月	内容	令和7年4月	アプリ提供事業者と契約締結	令和7年5～8月	システム構築・検証期間	令和7年10月	アプリリリース（本稼働）														
年月	内容																							
令和7年4月	アプリ提供事業者と契約締結																							
令和7年5～8月	システム構築・検証期間																							
令和7年10月	アプリリリース（本稼働）																							

	6 今後の方針 (1) 必要経費を令和7年度当初予算に計上する。 (2) アプリの登録につながるよう、あだち広報や区ホームページでPRするとともに、庁内外の関係機関と連携したPRも行っていく。
--	--

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件名	区立保育園の施設更新について											
所管部課名	子ども家庭部保育・入園課											
内 容	区立緑町保育園及び千住あずま保育園の施設更新の方針について、以下のとおり報告する。											
	1 施設更新の方針											
	(1) 基本的な考え方											
	ア 保育園の建替えの順番											
	施設面（密集地に設置、園庭が狭小）や運営面（午睡あり、休業期間がない）から、建替えには代替地の確保が必要となる。 築年数が古く、代替地の確保が見込める園から順次建替えを検討する。											
	イ 建替え方法											
	園舎は、プレハブ方式のリース契約とし、仮設ではなく本設で建替えすることにより、移転期間の短縮と経費削減を図る。											
	(2) 今回の建替え先の候補地											
	現在の園舎の近隣にある区立公園内に建築、移転とする。											
	<table><tr><td>園名</td><td>移転先の候補地</td></tr><tr><td>緑町</td><td>千住スポーツ公園（千住緑町2－1－1）</td></tr><tr><td>千住あずま</td><td>千住東町公園（千住東2－20－17）</td></tr></table>			園名	移転先の候補地	緑町	千住スポーツ公園（千住緑町2－1－1）	千住あずま	千住東町公園（千住東2－20－17）			
園名	移転先の候補地											
緑町	千住スポーツ公園（千住緑町2－1－1）											
千住あずま	千住東町公園（千住東2－20－17）											
	(3) 園舎建替えに伴う公園利用者への影響及び対応策（想定）											
	<table><tr><td>公園名</td><td>影響</td><td>対応策</td></tr><tr><td>千住スポーツ公園</td><td>公園内を南北に抜ける通路が、これまでより一部狭くなる。</td><td>園舎の形状を検討し、狭くなる部分をできるだけ少なくする。また、路面塗装や表示により、安全な通行空間を確保する。</td></tr><tr><td>千住東町公園</td><td>公園内広場及び公衆トイレは、建築・解体期間中は利用できなくなる。なお、工事終了後は通常どおり使用可能となる。</td><td>西へ約300m先にある千住東町児童遊園（千住東2－10－1）の広場、公衆トイレの利用を案内する。</td></tr></table>			公園名	影響	対応策	千住スポーツ公園	公園内を南北に抜ける通路が、これまでより一部狭くなる。	園舎の形状を検討し、狭くなる部分をできるだけ少なくする。また、路面塗装や表示により、安全な通行空間を確保する。	千住東町公園	公園内広場及び公衆トイレは、建築・解体期間中は利用できなくなる。なお、工事終了後は通常どおり使用可能となる。	西へ約300m先にある千住東町児童遊園（千住東2－10－1）の広場、公衆トイレの利用を案内する。
公園名	影響	対応策										
千住スポーツ公園	公園内を南北に抜ける通路が、これまでより一部狭くなる。	園舎の形状を検討し、狭くなる部分をできるだけ少なくする。また、路面塗装や表示により、安全な通行空間を確保する。										
千住東町公園	公園内広場及び公衆トイレは、建築・解体期間中は利用できなくなる。なお、工事終了後は通常どおり使用可能となる。	西へ約300m先にある千住東町児童遊園（千住東2－10－1）の広場、公衆トイレの利用を案内する。										

(4) 建替え後の跡地活用

園名	活用方針
緑町	旧園舎は解体し、庁内での跡地の利活用を検討する。庁内利活用がない場合、売却等を検討する。
千住あずま	旧園舎を解体後、公園として整備する。

2 今後の取組（予定）

(1) 令和7年2月

公園の地元の町会・自治会やスポーツ関係団体、在園児の保護者等に対して、施設更新の方針の周知、今後の予定等を説明

(2) 令和7年秋頃まで

建替え先の候補地の現況を踏まえて、具体的な園舎や園庭の配置等の仕様を検討（現時点の配置案はP 12～13参照）

(3) 令和7年秋頃から

新園舎の設計

(4) 令和8年秋頃から

新園舎の建替え工事に着手

(5) 令和9年夏頃

新園舎の完成

1 千住スポーツ公園（緑町保育園 配置案）



現地写真（上記地図内  の方向から撮影したもの）



2 千住東町公園（千住あずま保育園 配置案）



現地写真（上記地図内  の方向から撮影したもの）



子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件名	就学前施設における「足立区待機児童解消アクション・プラン」の改定・休止について
所管部課名	子ども家庭部 保育・入園課 子ども政策課、子ども施設指導・支援課、 私立保育園課、幼稚園・地域保育課
内 容	「足立区待機児童解消アクション・プラン」（以下、本プランという。）の改定にあたり、保育需要数等の見直しを行った。調査・分析の結果を基に、対応策を実施していく。 1 保育需要予測の更新（「別添資料2」P8～11） 更新の結果、令和7年度以降に必要な保育定員数は確保できていた。また、提供区域ごとの状況の確認を行った。 2 年度途中の待機児童対策の取組状況（「別添資料2」P31～34） （1）ベビーシッター利用支援（待機児童支援） 継続 令和5年5月より都事業を活用開始 （2）保育事業者へ入所保留者の発生状況等を情報発信 強化 年度途中に各施設で受入れ人数を変更し、迅速な入所保留者の受入れにつなげるため、区から保育事業者へ、入所保留者数の情報発信回数を増やすとともに、発信方法を改善 （3）入所不承諾となった保護者への情報提供 継続 不承諾通知に、各施設の最新の募集状況や希望園変更のオンライン手続きに関する案内文を添付 3 今後の方針（「別添資料2」P7） （1）必要な保育定員数は確保されていることから、新規の施設整備の予定はない。<u>今後は、入所調整の方法や弾力化の枠を拡大するなど、ソフト面の取組を強化し、年間を通じて区民が利用しやすい環境整備に取り組む。</u> （2）本プランの目的であった「保育施設の整備」については今後も予定が無いため、<u>本プランの改定は今回で休止</u>する。なお、保育施設の新規整備の必要性が生じた際には、改めて本プランの改定を行う。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件名	足立区子ども施設指定管理者の評価結果について																		
所管部課名	子ども家庭部私立保育園課																		
内 容	子ども施設のうち指定管理者が管理する15施設の令和5年度業務について、足立区子ども施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、報告する。 1 開催日時・会場 令和6年10月25日（金） 午前9時から午前11時まで 本庁舎南館13階 大会議室A 2 主な業務内容 （1）保育事業の実施に係る業務 （2）施設の維持管理に関する業務 3 評価対象期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日 4 評価委員会委員構成（計6名） <table><tr><th>種 別</th><th>氏 名</th><th>役 職 等</th></tr><tr><td rowspan="2">学 識 経験者</td><td>（会長） 田代 恵美子</td><td>明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師</td></tr><tr><td>柴田 幸基</td><td>公認会計士・税理士</td></tr><tr><td rowspan="2">関係団 体代表</td><td>堀口 幸子</td><td>足立区民生・児童委員</td></tr><tr><td>松崎 顕治</td><td>足立区青少年委員</td></tr><tr><td rowspan="2">区職員</td><td>岩松 朋子</td><td>教育指導部長</td></tr><tr><td>楠山 慶之</td><td>子ども家庭部長</td></tr></table> 5 評価方法 （1）担当課評価 提出資料の内容確認、指定管理者へのヒアリング、現地調査 （2）評価委員会評価 提出資料の評価	種 別	氏 名	役 職 等	学 識 経験者	（会長） 田代 恵美子	明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師	柴田 幸基	公認会計士・税理士	関係団 体代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員	松崎 顕治	足立区青少年委員	区職員	岩松 朋子	教育指導部長	楠山 慶之	子ども家庭部長
種 別	氏 名	役 職 等																	
学 識 経験者	（会長） 田代 恵美子	明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師																	
	柴田 幸基	公認会計士・税理士																	
関係団 体代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員																	
	松崎 顕治	足立区青少年委員																	
区職員	岩松 朋子	教育指導部長																	
	楠山 慶之	子ども家庭部長																	

6 令和6年度評価内容の改定について

令和5年度の評価委員会において委員からいただいたご意見等を踏まえて、以下のとおり改定を行った。

(1) 防災の取組

業務継続計画（BCP）の策定が「児童福祉施設の設備運営基準」において努力義務と明記されたため、従来の必須項目から加点項目に変更した。

(2) 事故への対応及び安全確保

令和5年度から安全計画の策定が義務化されたため、評価項目（必須項目）へ追加した。

(3) 小学校との連携

5歳児クラスのない園（青井おひさま保育園は0～2歳のみ在籍）について、小学校との連携について評価を行うことができず、従来は水準点である3点と採点していたが、他園と比べて低い評価となってしまっていたため、点数を他園の平均点となるよう変更した。

(4) 様式の見直し

指定管理者評価シートの担当課記入欄に、以下に該当する場合は「特記事項」として原則理由等を記入することとした。

ア 担当課評価で水準を下回る（2点又は1点）項目があった場合、その内容及び理由

イ 指定管理者評価と担当課評価で2点以上のひらきがあった場合、その内容及び理由

ウ 前年度の評価委員会評価で水準を下回る評価で、今年度の評価でも水準を下回る項目があった場合、改善策や経過等

(5) 評価項目の配点

以下の項目について、配点を見直した。

番号	項目	変更内容
7	事故への対応	「×2」→「×3」
10	職員の労働条件の保護	「×2」→「×3」
14	サービスの質の評価	「×1」→「×2」
32	安全確保	「×2」→「×3」
	合計点（満点）	「330点」→「350点」

7 令和5年度評価との比較

(1) 令和5年度から評価ランクが上がった園は4園あった一方、評価ランクが下がった園が1園あった。

(2) 千住保育園は、令和5年度から民営化されたことから、今年度から対象外とした。

(3) 新田さくら保育園は、令和4～5年度と2年続けて必要な資料の提出がなく、令和5年度は「評価不能」と判断したが、指定管理者が変更となり、資料の提出があったことから今年度は評価を実施した。

令和5年度		令和6年度 (5年度実績の評価)		施設名
A+	2園	⇒ 評価対象外	1園	千住
		⇒ A+(現状維持)	1園	水神橋
A	7園	⇒ A+(1ランク上昇)	1園	新田おひさま
		⇒ A(現状維持)	5園	さつき、せきや、 青井、竹の塚、興本
		⇒ A-(1ランク下降)	1園	やよい
A-	4園	⇒ A(1ランク上昇)	1園	竹の塚北
		⇒ A-(現状維持)	3園	伊興大境、谷在家、 五反野
B+	2園	⇒ A-(1ランク上昇)	2園	東保木間、 青井おひさま
不能	1園	⇒ B+	1園	新田さくら

8 評価委員会での主な意見と対応等

	評価委員会からの意見	対応策
1	アレルギー児に対する食事の提供に保育者が付いていないなど、適切に実施されていない園が複数あった。独自のアレルギー対策でなく、マニュアルを遵守するよう指導すること。	実地調査の際に口頭で指導等を行ったが、再度文書指導した上で改めて現地調査を実施し、改善状況を確認する。
2	指定管理者の自己評価が低い園が複数あった。採点基準を基に評価点を付けていると思われるが、保育内容など適切に実施しているのであれば、それに準じた評価を付けるべき。	該当となる園に対し、評価委員会からの意見を伝えた上で、次年度の評価の際には基準に沿って適切に採点いただくとともに、今後明らかに低い点が付いている場合は、その理由を聴取する。
3	時間外労働が多い園について指導を行い、改善状況について確認すること。	該当の園に対し文書指導した上で、職員の増員など改善計画の提出を求め、その後の改善状況を確認する。

9 施設名称及び評価結果等（満点350点・評価点順）

No.	施設名称 指定管理料（円）	指定管理者 代表者名	評価点	評価点/満点 ×100（％）	前年度 評価	今年度 評価	比較
1	新田おひさま保育園 120,401,090	（福）太陽会 北守 正子	328	93.7%	A	A+	↑
2	水神橋保育園 197,043,781	（福）聖華 白須賀 まり子	315	90.0%	A+	A+	→
3	竹の塚保育園 185,002,990	（株）ベネッセイケア 滝山 真也	314	89.7%	A	A	→
4	せきや保育園 154,576,102	（福）桑の実会 濱野 賢一	313	89.4%	A	A	→
5	青井保育園 227,104,183	（福）からしだね 春見 静子	311	88.9%	A	A	→
6	興本保育園 191,953,115	（福）太陽会 北守 正子	309	88.3%	A	A	→
7	竹の塚北保育園 202,940,059	（福）三樹会 細野 智樹	306	87.4%	A-	A	↑
8	さつき保育園 237,189,778	（福）江北会 野口 澄夫	293	83.7%	A	A	→
9	伊興大境保育園 189,358,350	（福）高砂福祉会 篠塚 弘子	286	81.7%	A-	A-	→
10	やよい保育園 207,489,355	（福）博友会 川下 勝利	282	80.6%	A	A-	↓
	東保木間保育園 171,263,450	（福）高砂福祉会 篠塚 弘子	282	80.6%	B+	A-	↑
12	五反野保育園 220,687,475	（株）日本保育サービス 坂井 徹	278	79.4%	A-	A-	→
13	谷在家保育園 139,203,830	（福）わかば会 石川 美和子	277	79.1%	A-	A-	→
	青井おひさま保育園 95,317,037	ライクキッズ（株） 岡本 泰彦	277	79.1%	B+	A-	↑
15	新田さくら保育園 130,638,421	ライクキッズ（株） 岡本 泰彦	238	68.0%		B+	-

（別添資料3「令和6年度 足立区子ども施設指定管理者評価委員会評価結果資料」参照）

10 今後の方針

- （1）今回の評価結果を指定管理者に説明し、今後の業務改善につなげていくよう指導する。また、指導内容については改めて現地を訪問し、改善状況を確認する。
- （2）区ホームページに令和7年2月に掲載する。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年1月23日

件名	足立区立学童保育室の指定管理者業務評価結果について														
所管部課名	子ども家庭部学童保育課														
内容	足立区立学童保育室（なかよし学童保育室ほか15施設）の令和5年度業務について、足立区立学童保育室指定管理者等評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので報告する。 1 評価委員会開催日・会場 令和6年10月10日（木） 午前8時40分から午後5時まで 本庁舎南館4階 401会議室 2 主な業務内容 （1）学童保育事業の実施に関する業務 （2）施設の維持管理に関する業務 3 評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日 4 評価委員会委員構成（計4名） <table><tr><th>種別</th><th>氏名</th><th>役職等</th></tr><tr><td rowspan="2">学識経験者等</td><td>【委員長】 今 井 康 晴</td><td>東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授</td></tr><tr><td>池 部 彩 子</td><td>社会保険労務士</td></tr><tr><td>区 民</td><td>宮 崎 保 子</td><td>足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長</td></tr><tr><td>区職員</td><td>齊 藤 ひろみ</td><td>子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長</td></tr></table> 5 評価方法 （1）担当課評価 提出資料の内容確認、指定管理者へのヒアリング、現地調査 （2）評価委員会評価 提出資料の評価	種別	氏名	役職等	学識経験者等	【委員長】 今 井 康 晴	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授	池 部 彩 子	社会保険労務士	区 民	宮 崎 保 子	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長	区職員	齊 藤 ひろみ	子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長
種別	氏名	役職等													
学識経験者等	【委員長】 今 井 康 晴	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授													
	池 部 彩 子	社会保険労務士													
区 民	宮 崎 保 子	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長													
区職員	齊 藤 ひろみ	子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長													

6 令和6年度評価内容の改定について

(1) 主な変更内容

項 目	変更前	変更後
担当課評価で 水準を下回る 項目があった 場合の取扱い	1 水準が下回る項目があっても特記事項に明確な記載はしていなかった。 2 評価委員会から全体を通して改善要望があった部分のみ改善状況の確認を行っていた。	1 特記事項に水準を下回る項目の<u>内容及び理由を明確に記載し、評価委員会で丁寧に説明のうえ評価をいただく。</u> 2 改善要望があった部分だけでなく、<u>水準を下回る項目についても</u>実地調査等で改善状況の確認を行う。
各項目の配点 及び合計点	1 項目別に配点の差を設けていたものの、その差が小さかった。 2 評価委員会の満点と指定管理者及び区担当課の満点が異なっていた。	1 子どもの命に関わる等<u>重要項目の配点を高くし、これまでよりも総合点に反映されるように修正する。</u> 2 <u>評価委員会の満点を指定管理者及び区担当課評価の満点にそろえる。</u>

(2) 評価項目の得点

番号	評価項目	変更内容
2	職員配置	「×2」→「×3」
15	日常生活の支援	
16	遊びの支援	
17	おやつを提供	
18	配慮を必要とする児童への対応	
4	施設・設備の安全性の確保	「×1」→「×3」
7	登室、保育中、帰宅等の安全対策と事故対応	

7 令和5年度及び令和6年度評価の比較

令和5年度			令和6年度 (5年度実績の評価)			施設名
A	5室	⇒	A+	1ランク上昇↑	2室	せきや、東栗原
		⇒	A	現状維持 →	2室	しまねっ子、千寿
		⇒	A-	1ランク下降↓	1室	つぼみ
A-	3室	⇒	A	1ランク上昇↑	1室	なかよし
		⇒	A-	現状維持 →	2室	足立、亀田
B+	6室	⇒	A-	1ランク上昇↑	4室	さくら、中島根、 新田学園、江北五色 のさくら
		⇒	B+	現状維持 →	2室	さかえっこ、竹の塚
B	1室	⇒	B+	1ランク上昇↑	1室	新田学園第二

※ 評価が上がった学童保育室は8室、評価が下がった学童保育室は1室であった。

※ 鹿浜未来学童保育室は、令和5年度新設学童保育室のため、令和5年度と令和6年度の比較ができない。

8 評価委員会での主な意見

- (1) 手作りおやつの実施など前年度の改善要望を取り入れている。
また、学校との関係が良好で連携が取れている。
- (2) 大規模な学童なので、円滑な運営のためには、保護者とのコミュニケーションが不可欠である。今後は、保護者との連携をより深める取組に期待したい。
- (3) 職員の特色を活かした独自の保育を行っている。また、本部が積極的に現場をサポートしているように感じる。
- (4) 正規職員が少ない中、児童の意見を取り入れた保育を行っている点は評価できるが、その分正規職員の負担が大きくなっていると思われる。本部には、今まで以上に現場職員が意見を言いやすい体制を整備していただきたい。

9 評価対象学童保育室及び評価結果（満点270点・評価点順）

No.	学童保育室名 指定管理料 (円)	指定管理者 代表者	評価点	評価点/ 満点× 100(%)	今年度 評価	前年度 評価	評価
1	せきや学童 保育室 33,358,806	社会福祉法人 桑の実会 濱野 賢一	250	92.6%	A+	A	↑
2	東栗原学童 保育室 17,062,307	社会福祉法人 桑の実会 濱野 賢一	244	90.4%	A+	A	↑
3	しまねっ子 学童保育室 17,035,653	社会福祉法人 桑の実会 濱野 賢一	238	88.1%	A	A	→
4	千寿学童 保育室 17,028,440	社会福祉法人 桑の実会 濱野 賢一	236	87.4%	A	A	→
5	なかよし学童 保育室 17,031,250	株式会社明日葉 大隈 太嘉志	227	84.1%	A	A-	↑
6	鹿浜未来学童 保育室 29,434,522	株式会社セリオ 黒崎 泰司	226	83.7%	A		
7	つぼみ学童 保育室 15,355,575	株式会社マミー・ インターナショナル 伊藤 勝康	222	82.2%	A-	A	↓
8	江北五色の さくら学童 保育室 16,749,073	エルシーワークス 株式会社 岩田 陽介	219	81.1%	A-	B+	↑
9	亀田学童 保育室 49,574,369	株式会社 プライムツーワン 佐藤 範夫	217	80.4%	A-	A-	→
10	さくら学童 保育室 49,500,156	株式会社明日葉 大隈 太嘉志	213	78.9%	A-	B+	↑
11	新田学園学童 保育室 16,819,646	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団 平本 哲男	212	78.5%	A-	B+	↑
12	中島根学童 保育室 16,748,834	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団 平本 哲男	210	77.8%	A-	B+	↑
13	足立学童 保育室 17,019,153	社会福祉法人 桑の実会 濱野 賢一	207	76.7%	A-	A-	→
14	竹の塚学童 保育室 15,484,908	株式会社 日本保育サービス 坂井 徹	199	73.7%	B+	B+	→
15	新田学園第二 学童保育室 45,664,786	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団 平本 哲男	193	71.5%	B+	B	↑
16	さかえっこ 学童保育室 16,977,971	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団 平本 哲男	190	70.4%	B+	B+	→

※ 鹿浜未来学童保育室は、令和5年度新設学童保育室のため、令和5年度（令和4年度実績）の評価は無い。

【別添資料4】足立区立学童保育室指定管理者等評価委員会評価結果資料参照

10 今後の予定

- （1）今回の評価結果を指定管理者に周知し、今後の業務改善につなげていくよう指導するとともに、実地調査にて改善確認を行う。
- （2）区ホームページに令和7年2月に掲載する。